



◆りんご、なし中国産輸入花粉輸入停止に伴う花粉の確保対策について

すでにお知らせしてある通り、中国産輸入花粉は今後輸入されてこないため、受粉樹だけでは花粉が不足する、花粉が無い方向けに、次の方法をご紹介します。

なお、根本的な解決のため、受粉樹の植付や他の栽培者からの確保も進めて下さい。

1. 剪定枝を利用した花粉確保方法

1) 剪定の際に本来剪除する予定の枝(花芽が着生していることを確認)を残して置き、加温を行う直前に枝を採取すること。例えば、剪定時に「豊水」等の長果枝を多めに樹上に残し、加温直前に樹上に残した枝を切除した後、加温により開花促進を行い、授粉用花粉を採取する。

ビニールハウス等加温用の施設内の温度は花芽が動いていない時期(1月下旬から3月中旬)であれば15℃～20℃、自然開花直前であれば25℃に設定したうえで、底面をトレイ等で水を張った状態にし、採取した枝を水挿しする。数輪開花を目安に採取する。

加温期間中に高温(30℃以上)や低温(5℃以下)に遭遇すると花粉発芽率が低下するため、温度管理には十分注意すること。

2. 授粉樹を多くもっている方から、採取させてもらう方法

1) 近隣等で、自身が使用する以上に、花がある方から採取をさせていただく。

3. 受粉樹に適している品種(参考)

1) ふじに受粉する場合：シナノゴールド・シナノスイート・紅玉・つがる

(秋映・シナノホッペ・王林・シナノドルチェ・メイポール等)

2) 南水に受粉する場合：豊水(二十世紀・サザンスイート・あきづき・幸水など)

◆ J A 長野県農業情報サービス「アグリネット」

(加入料・情報料無料) の紹介について

パソコンやスマートフォンを利用し、「購買・販売お取引情報」「J Aグリーン長野栽培情報 栽培アシスト情報による注意喚起や栽培情報等の掲載」「管内の気象観測情報（管内各地に設置された自動観測機）」を確認でき、組合員皆様の営農活動に役立ちますので、ぜひご利用下さい。

なお、令和6年2～3月頃を目途に、「より使いやすく」「コンテンツ追加」を実施し、栽培アシストや、気象観測情報の仕様が更新されます。

J A広報誌「エバーグリーン」令和6年1月号でも紹介されています。詳しい内容や加入方法は、そちらをご覧ください。

◆ 令和6年度 施肥・防除の手引き

肥料・農薬・果実袋の予約注文書 果樹編 修正について

内容に修正がありますので、ご確認下さい。

《修正点》

○4 P ネクタリン病害虫防除基準

・散布時期 2・3 アビオンE 使用倍率・水1000当り調合量

修正前：1,000倍 100ml

修正後：1,500倍 66ml

○30 P 殺虫剤・殺ソ剤

・整理No.7 トランスフォームフロアブル 10a 当り年間使用量の目安

修正前：りんごに記載 225ml

修正後：ももに記載 225ml

○30 P 果実袋の使用基準と34 P 果実袋

・整理No.4 もも 白ふじソフト10切V

修正前：通常価格750円 100枚単位概算価格715円

修正後：通常価格365円 100枚単位概算価格345円

・整理No.24 ぶどう シャインD20型防虫袋緑×緑（小林製袋）

併せて、果実袋の使用基準に記載も同じく

修正前：W203H290

修正後：W217H315

◆農産物残渣の焼却について

前回もお知らせしておりますが、野焼きは原則禁止ですが農業を営むためにやむを得ない場合は例外とされています。ただし焼却は最小限になるように努めて下さい。また堆肥の原料や土壌改良資材として有効活用しましょう。

[実施の場合の注意点]

①消防署へ連絡（事前の申し出と、緊急時に連絡が取れるようにしておく）

届出書 <https://www.city.nagano.nagano.jp/n801500/contents/p000136.html> より、ダウンロード可能。

②周りの状況に注意する（住民から苦情が出ないように）

③家庭ゴミ、農業用廃プラスチック等を一緒に焼却しない。

④風の無い時を選ぶ（風が出てきたら焼却作業を止めてください）

⑤周りに燃え移るものが無い所で実施する。（枯れ草などが無い所、土手際・山際は不可）

⑥消火できるように準備（水バケツ・SS用意）

⑦その場を離れない（人がいない場合、消防は消していきます）

⑧完全に消火する（夜は燃やせない）

◆長野県内でモモヒメヨコバイ寄生が確認されました

令和5年12月27日、長野県病害虫防除所より、長野県南信地域のもも・うめ生産園地で県内では未確認の「モモヒメヨコバイ」が確認されました。

本種は、近隣県含む25都府県で発生が確認されています。もも・うめ以外にもすもも・あんず・おうとう等のバラ科果樹を加害することが報告されており、登録農薬が無い品目もある中、今後の状況の注視が必要です。

詳しくは、長野県病害虫防除所のホームページをご覧ください。

◆令和5年度長野地域果樹生産振興研修会開催のお知らせ

1. 目的 長野地域の果樹生産は、栽培農家の減少や高齢化により産地基盤の脆弱化が目立ってきており、果樹産地の維持に向けた取組の重要性が増している。特に、生産面においては、販売力の高い品目・品種への転換や生産安定技術等の早期普及・定着に加え、近年は気象変動に起因する課題への対応が必要となっている。このため、長野地域の果樹生産に係わる関係者が一堂に会し、問題点や課題を共有し、課題の早期解決に向けた研修会を開催する。
2. 主催 長野地域園芸振興推進協議会
3. 日時 令和6年2月9日（金）午後1時30分～4時25分まで
4. 場所 長野市東部文化ホール（長野市小島804番地5）
5. 内容 栽培農家の減少や高齢化を踏まえ、果樹経営の所得向上や新たな担い手の確保、樹園地の継承の仕組みづくりなどの参考事例を紹介予定。
 - ・農業分野の知的財産管理について
長野県農業試験場知的財産管理部 研究員 大日方敦哉氏
 - ・果樹におけるスマート農業への取組事例
～中山間地における果樹生産のスマート化プロジェクト～
農業法人株式会社秋津野 代表取締役社長 木村 則夫氏
6. 参加費不要
7. 参加確認 令和6年1月26日（金）までに、下記参加申込書を各流通センター・共選所まで

----- キリトリセン -----

令和5年度 長野地域果樹生産振興研修会 参加申込書

提出日:令和6年 月 日

私は長野地域果樹生産振興研修会に参加申込致します。

支所 _____ 地区 _____ 氏名 _____ 電話 _____